

# 緑化だより

No.114 平成28年3月号



アケボノアセビ

- 早春の花
- 野鳥の世界(ジュウイチ)
- 病虫害の話
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

3月28日(月)は開園します



広島県立大学の森

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

## 早春の花

空気も和らぐ季節、待っていたかのように木々の花が咲き始めます。クスノキ科の**アブラチャン**、ダンコウバイ、**クロモジ**、シロモジやマンサク科のトサミズキ、ヒュウガミズキ、そしてキブシ科の**キブシ**などです。どれも黄色の小さな花ですが、葉が出る前に咲くためよく目につきます。

アブラチャンは、葉が開く前に、枝の節ごとに数個の花が集合して咲きます。佐賀では“子安木(こやすのき)”とも呼ばれ、安産祈願に用いられたそうです。又、「油瀝青」と表すように、木全体に油分があり、果実や樹皮からとった油は灯用に使用し、ねばりがあるため杖や雪の多い地方ではかんじきの材として用いられました。

クロモジは、とがった葉芽の下に2~4個の蕾をつけて春を待ちます。暖かくなると羽根つきの羽根のように葉が開き、その下に小さな花が房になって開きます。芳香があり、抗菌作用のある材はお茶席などで用いられる取り箸や楊枝に用いられます。

キブシは、数珠玉を垂らしたような花をつけ、風に揺らぐ姿は風情があります。盆栽仕立てにして楽しむのも面白いでしょう。9月になると雌株は丸い実を房状に付けます。ヌルデの虫こぶから採取するタンニンはお歯黒の材料として利用されますが、高価なためキブシの実からとったタンニンをその代用としました。材は堅く強いいため、酒やしょうゆ樽の呑口として使われています。(山根)



アブラチャン



クロモジの蕾



キブシの実

キブシの花

## 野鳥の世界

### ジュウイチ

野鳥の名前としては普段聞くことのない珍しい名前です。東南アジアから渡ってくる夏の渡り鳥で、西中国山地では県境の深い森林域で生息しています。カッコウ、ホトギス、ツツドリの仲間、自分では巣造りをせず、モズ、ホオジロ、コルリなどの巣に托卵してヒナを育てさせます。このような鳥を杜鵑(とけん)類といいます。毛虫や昆虫の幼虫を主な餌とし、巣立つ頃には仮親より大きな体になりますが、仮親はそれでもヒナの背中に乗ったりして給餌することもあるようです。

ジュウイチは、ほかの杜鵑(とけん)類ほど飛来する個体が少なく、めったに出会えない鳥ですが、出会う機会は“ジュウイチ、ジュウイチ”と高い声で鳴きながら森林の上空を飛行する時です。以前、緑化センターでも確認されています。樹高の高いセイヨウヤマナラシの先端に近い枝にとまり鳴いていました。大量発生した好物の蛾の幼虫がいなくなるまで通っていました。その間、一定の頻度で観察できましたが、普段鳴き声を聞くことはあっても姿を見るのは稀です。(吉見)



ジュウイチ

## 病虫害の話

### 自然の力で病虫害退治

植物を病虫害から守るには、最低限の被害ですむ健康な体を作ってやるのが大切です。そのためにはまず健康な土作りから始めましょう。

健康な土とは団粒構造の土のことです。すなわち①水分の保持力があり、余分な水分は溜めない排水性の良い土。②通気性が良い土。③ミミズなどの土の中の小さな虫や微生物、バクテリアが繁殖できる土です。

長い間耕してない土は、クワやスコップが入りにくく、そのような土では雨が降っても表面を流れるだけで土の中まで浸透しません。15cmくらい掘り返しても水がまったく浸み込んでいないことがあります。又、化学肥料や薬剤を使いすぎると土壌中の小さな虫や微生物などが活動できない環境になるため、植物にも影響が出てきます。健康な土で育った植物は、十分に根を張り、微生物やバクテリアから作られた栄養をとり丈夫な体を作ります。庭木などに元気がないな？と感じたら、まず、腐葉土やもみ殻燻炭などを土にすき込み土壌改良を試みましょう。土の中は見えないため分かりにくいのですが、バランスの良い土で育った植物は根がよく張り、枝や葉も元気になり花つきもよくなります。

植物の中には病虫害の駆除効果があるものがあります。マリーゴールドを混植するとセンチュウ防除になるのはよく知られていますが、他にもセージ、トウガラシ、ヨモギ、ニンニク、ニラ、ドクダミ、ミカンなど抗菌・駆除物質を含む植物があります。利用してみたいかでしょうか？

例えば

- ・かんきつ類の皮 (病原菌抑制)

土壌にすき込む。

- ・ニンニク液(アブラムシ防除)

木酢 1.0L にニンニク 200g を漬け 3 か月以上置く。700~1,000 倍液を散布。

- ・トウガラシ・ニンニクエキス (アオムシ、ホコリダニ、アブラムシ駆除)

焼酎にトウガラシ、ニンニクを漬け 1 か月以上置く。300~500 倍液を散布。など他にも色々な方法があります。(山根)

# 研修会のご案内

- 3月11日(金) 『コケの観察会』  
早春のコケを観察しよう

10:00~12:00 学習室 集合  
講師：広島大学名誉教授  
関 太郎

- 3月26日(土) 『春の接木教室』  
接木の講習と実技

10:00~12:00 学習室 集合  
講師：NPO法人 樹木医ひろしま  
理事長 溝口 幸平太

※ 要予約 材料費500円 ナイフ持参

- 3月27日(日) 『早春のバードウォッチング』  
野鳥の採食パターンを観察します

10:00~12:00 管理事務所前 集合  
講師：日本鳥類保護連盟 会員  
吉見 良一

- 3月30日(水) 『3月の自然探勝』  
芽立ちを観察しよう

10:00~12:00 管理事務所前 集合  
講師：環境省希少野生動植物  
種保存推進員  
吉野 由紀夫

## ◎ 展示会

場所:レストハウス  
(ガラスケース展示)

・バードカービング作品展  
~3月21日(月)

・趣味の手作り作品展  
3月25日(金)~4月30日(土)

(ボード展示)

・緑化ポスター原画コンクール入賞作品展  
~3月13日(日)

・私の好きな緑化センター写真展  
3月16日(水)~4月28日(木)



前回の趣味の手作り作品展より

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

広島県緑化センター

～春のおでかけキャンペーン～

3月26日(土)~5月15日(日)

広島県緑化センター&広島市森林公園、  
両園でスタンプを集めて景品ゲット!

さくら祭り 3月26日(土)~4月24日(日)

期間中、さくらクイズラリーや早咲きから遅咲きの  
さくら約50種類が楽しめます。

さくら祭りお楽しみイベント (レストハウス前)

4月3日(日) 10:00~15:00

クイズラリー、ネイチャーゲーム、木登り体験、  
さくら餅販売など、サクラの中でのイベントが盛りだくさん



さくら祭りお楽しみイベント